

## 7月臨時会の会期日程及び議決結果

7月24日

[本会議]  
[常任委員会]  
[本会議]

○議案上程、委員会付託  
○付託案件審査  
○委員長報告、議案等結審

平成21年第5回臨時会は、7月24日に1日間開かれ、市長提出議案4件について審議決定しました。そのほか、専決処分の報告2件などがありました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第85号議案	平成21年度長崎市一般会計補正予算（第3号）	所管の各常任委員会	原案可決
第86号議案	平成21年度長崎市病院事業会計補正予算（第3号）	厚生委員会	〃
第87号議案	平成21年度長崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道委員会	〃
第88号議案	平成21年度長崎市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃

## 9月定例会の会期日程（18日間）

9月1日	[本会議]	○議案上程、委員会付託
9月4日、7～8日	[本会議]	○市政一般質問（個人質問）
9月9日	[本会議]	○市政一般質問（個人質問） ○追加議案上程、委員会付託
9月10～11日、14～15日	[常任委員会]	○付託案件審査
9月16日	[特別委員会]	○付託案件調査
9月18日	[本会議]	○委員長報告、議案等結審 ○人事案件に同意 ○特別委員の選任

## 『議会基本条例検討特別委員会』が設置されました

平成20年度に設置した議会制度改革推進会議の答申を受け、議会運営委員会で検討した結果、9月定例会において、議会に関する基本的事項を定める議会基本条例の制定を検討する「議会基本条例検討特別委員会」を設置しました。

（委員名簿は8ページに掲載しています。）



委員会の様子

**答** 平成20年度当初に介護老人福祉施設の待機者が千名を超えていたことから、定員29人以下の地域密着型特別養護老人ホームの整備を12施設、348床、行うことにした。今後とも、本市の高齢化率等を十分把握した上で施設整備を進めていきたい。

**問** 介護サービス利用者が着実に増加し、特に特別養護老人ホームの需要には供給が追いついていない。本市の第4期介護保険事業計画において介護保険施設の整備計画が示されているが、その整備方針と整備状況について伺いたい。

介護施設の整備方針と整備状況について

市民クラブ

（個人質問）

### 一般質問

9月定例会では、9月4日から9月9日までの4日間にわたって、個人質問（19人）が行われました。今回の質問では議員ごとに1項目ずつ合計19項目を掲載しています。

## 新型コロナウイルス対策について

**問** 新型コロナウイルスによる死者が発生し、今後、爆発的に感染者が拡大すると言われている状況であるが、本市における新型コロナウイルスに対する感染拡大防止策について伺いたい。

**答** 市民一人ひとりが感染を防止する自覚を持って対応することが重要で、手洗い・うがいの励行、症状が出た場合はマスクの着用、外出の自粛等の徹底をお願いしたい。今後とも広報紙等により正確な情報を市民に提供し、感染防止に努めたい。

## CSR（企業の社会貢献）活動との協働について

**問** 近年、企業の地域社会における貢献の必要性が重要視されてきており、行政にとっても今後大きな力になると期待している。CSR活動と市の連携の実態、連携する市の窓口と受け入れ態勢、市のCSR活動との協働について伺いたい。

**答** 企業の新入職員研修として、中島川の清掃に取り組んでいただいた事例等があり、企業からの相談受付は、市民活動センターで行っている。企業の専門性を生かした地域貢献の力は大きな市民力であると思っており、これま

で以上に企業や市民活動との連携を図っていききたい。

## （仮称）伊王島大橋架橋後の振興策について

**問**（仮称）伊王島大橋の架橋後の振興策として、香焼側と伊王島側の橋のたもとに人の足を止めさせる道の駅のような施設をつくり、にぎわうようなことができないか。

**答** 今年8月に長崎南商工会を中心として、（仮称）伊王島大橋に係る香焼伊王島地区活性化協議会が設立された。今後、この協議会の中で検討がなされることになるが、地域と行政が協働してハード・ソフト両面から総合的に振興策を検討したいと考えている。



（仮称）伊王島大橋の現在の様子

## 公用車における次世代自動車の導入について

**問** 長崎市の公用車の電気自動車やハイブリッド自動車など次世代自動車の現在の導入状況及び今後の導入計画について伺いたい。また、県が国の電気自動車活用モデルタウンに採択され、平成25年度までに次世代自動車を500台導入する計画だが、本市もこの計画に参画する考えはないか。

**答** 本市の導入状況は、8月末時点で5台だが、今後は市が率先して公用車の次世代自動車への計画的な転換を図る必要があると考えている。県の事業は低炭素社会を目指し、次世代自動車の普及を推進するためにも意義があると認識しており、積極的に関わっていききたい。



ハイブリッド自動車の公用車

## 若者の集つまちづくりについて

**問** 学生に自治会に対する意識調査をしたところ参加しにくいとの意見があったが、ボランティアに率先して参加し、社会貢献に対する意識が高い若者も多く存在する。大学、学生と地域、自治会が連携できる仕組みを本市が支援する必要があるのではないか。

**答** 豊かな知識や技術を持つ方を自治会に派遣し地域活動を手助けする「いきいき地域サポーター制度」に学生のボランティアグループの枠を新たに設け、地域との連携や地域活動の活性化と支援につなげられないか大学等とも十分協議するなど、あらゆる方策を探っていききたい。

## 自由民主党

### 川原大池公園の環境保全と活用について

**問** 川原大池は長崎県内最大の自然淡水湖であり、貴重な植物も多く、自然環境学習や野外キャンプなどの活動を促進するために整備すべきと考えられているか。

**答** 川原大池は自然環境学習の場としても大変貴重な湖であると認識している。今後どのような活用が可能か研究するとともに、樹林内の伐採や樹木銘板の設置などの整備については、地元関係者のご意見を伺いながら進めていきたい。



川原大池公園

## 来年度の予算編成について

**問** 市民のニーズや予算の優先順位を議論するためには、予算編成過程の公開は絶対条件だと考える。次年度の予算に対しての要望等の中で参考になることから、予算編成過程の公開、最低限でも事後公表すべきと考えるが見解を伺いたい。

**答** 予算編成過程での公表は難しい問題であると捉えているが、行政の透明性の確保、市民への情報発信や説明責任の観点から大切なことと認識しているので、次年度の予算編成から、事後公表という形での公表について前向きに取り組んでいきたい。

## 自民明政クラブ

### 長崎市の公共施設再配置計画について

**問** 公共施設の適正な配置、効率的な施設サービスのあり方を検討すべき時期にあると考えるが、維持管理費のこれまでの推移と今後の見込み、経費節減やサービス向上に向けた再配置計画について、どのような視点から見直すか。

**答** 維持管理費は指定管理者制度の導入等により減少傾向だが、今後は、施

設の老朽化に伴い経費増大が見込まれる。現在、適正な配置バランスや既存施設の有効活用、利用者ニーズ、効率的な維持管理運営等の視点に立った適正配置の検討を進めている。

### 自治会集会所補修の補助負担額の見直しについて

**問** 本市の自治会集会所の補修工事費に対する補助は100万円以上の工事が対象となっており、100万円未満の工事は全額自治会負担で、規模の小さな自治会にとっては大きな負担となっている。100万円未満の補修工事についても補助の対象とする考えはないか。

**答** 補助制度の見直しについて、庁内に設置している自治会活動支援検討委員会において十分検討していきたい。また、全自治会を対象に工事予定等についてアンケート調査を行い、補助のあり方を検討していきたい。



補修工事された自治会集会所

## 公明党

### 若年者の就業意識の向上について

**問** 県内では、年間千人前後の高校中退者が出ており、その多くは仕事が見つけにくく、見つけたとしてもほとんどがすぐにやめてしまう状況である。市は高校中退者に対する就労支援について、現在、どのように対応しているのか。

**答** 高校中退者の就業促進は大きな問題であり、就労指導に向けた取り組みを行っている「長崎若者サポートステーション」の活動を広く図るのみならず、就業支援に関する企業との連携や働きかけなど、関係機関との連携を強化しながら取り組みを進めていきたい。

### 朝市開設に向けた取り組みについて

**問** 朝市は、長崎らしさを醸し出すにぎわいのあるまちづくり施策として大いに期待できる。「ながさき朝市モデル事業」として朝市の開設に向け取り組んでいるようだが、開始時期、候補地等、事業概要についてお尋ねしたい。

**答** 築町にモデル地区を選定し、9月中に地元主体の実行委員会が設置される。農水産物の販売のみならず加工体験もできるものと期待している。本市としては11月から12月の間に1回、2月に1回の計2回の開催を提案したいと考えている。

### 小中一貫教育の導入について

**問** 子どもの学力低下や不登校が叫ばれている中、各地で義務教育の6・3制を見直す試みが始まっているが、子どもたちが生活や学習環境の急激な変化をあまり意識せず、円滑に学校生活に順応していく小中一貫教育の制度を本市でも取り入れる考えはないか。

**答** 本市では、野母崎地区において4小学校を1校に統合し、平成22年度に野母崎小学校が現在の野母小学校を仮校舎として開校する予定で準備を進めている。今後、野母崎中学校との施設一体型を基本とした校舎において、小中一貫教育のモデル校を目指していきたい。



野母小学校

# 日本共産党

## （仮称）伊王島大橋架橋後の交通船の存続について

**問**（仮称）伊王島大橋架橋後、離島補助航路の指定がなくなれば、航路の継続は困難になるとの報道がある。住民生活や観光振興からも交通船の存続が必要と考えるが、運航継続を求めて汽船会社と交渉する考えがあるか。

**答** 伊王島の交通便利性の維持や地域振興・観光振興を図る上で航路の存続は重要な課題であると考える。架橋後の交通需要を勘案し、市の費用負担や路線バスの運行のあり方等を整理し、航路存続に向け、国、県、関係機関と十分な協議、調整を行っていききたい。

## 新市立病院整備運営事業について

**問** 新市立病院整備におけるPFI方式の導入及び地方独立行政法人化には撤回を求める立場である。PFIの先事例では病院経営の失敗が続いており、多くの問題点が指摘されているが、本市の見解を求めたい。

**答** 将来的に安定した病院経営を行うためには、建設費を抑える必要があり、その観点からPFI方式が一番よい方

法であるという結論に達した。地方独立行政法人化については、経営の効率化だけではなく、市民・患者へのサービス向上を図る観点から移行を検討している状況である。



新市立病院のイメージ図  
（外観などは今後の詳細設計などにより異なります）

## 国民健康保険事業について

**問** 他の保険制度と比べて高率である国民健康保険税について、国庫負担の増額や、他県のような県費補助を強く要請し、また、一般会計からの繰り出しを行い、保険税を引き下げるべきではないか。

**答** 国保加入者は全市民の約3割程度で、負担の公平性から一般会計から繰り入れを行うことは困難であると考えている。このような中、全国市長会等において国庫負担金等の拡充や低所得者対策の充実を求めており、国保財政安定化のために引き続き、国等へ要望を行いたい。

## 聖福寺の保存について

**問** 聖福寺は県や市指定の文化財が数多く長崎の貴重な宝であるが、現在は支える檀家も少なく、みずからの保全改修には困難が予想される。貴重な文化財を保全する責務から市は何らかの手を差し伸べるべきではないか。

**答** 後世に残していくために保存修理の必要性は十分認識している。県・市指定の文化財ではあるが、保存修理となると所有者にも多額の負担が予測されることから、所有者や県との協議を進めていききたいと考えている。聖福寺は長崎市の歴史や文化を語る上で貴重な文化遺産であり、早期の保存修理実現に向けて努力していきたい。



聖福寺

## 気 走 会

## 長崎バイパスの無料化について

**問** 全国的に一般有料道路の無料化の傾向が続いているが、市民が生活道路として頻繁に利用している長崎バイパス

スの無料化を市長が先頭に立って国等に要望して欲しいが、いかがか。

**答** これまで、料金徴収期間が延長されることのないように国に対して要望を行い、また、通行料金の値下げについても国等に要望書を提出した。今後の国の動向を注視しながら、早期に料金の無料化が実施されるよう働きかけていきたい。

## 草の根クラブ

## 業務委託の最低制限価格率の引き上げと適正な労働水準の確保について

**問** 業務委託の最低制限価格率の引き上げについて、6月議会で前向きな答弁があったが、その後の経過について伺いたい。また、入札価格だけでなく、法令遵守や適正な労働水準を確保する契約に改善できないか。

**答** 施設の保守や維持管理の業務委託について、最低制限価格を設定する業種を拡大し価格率の引き上げを行っていく。また、これらの業務の標準的な仕様書の作成を進めており、労働者雇用に対する法令等の遵守などを記載し、あらゆる機会を捉えて事業者による適正な雇用環境の確保と業務の適正な履行を促していきたい。

## 長崎市民会議